

令和6年度 中部厚生センター献血推進協議会 議事録（要旨）

日時：令和6年10月23日（水）15:00～15:30

場所：上市町保健福祉総合センター2階研修室

1 開 会

委員25名のうち、本人17名、代理3名の合計20名出席

2 議 事

献血事業の推進について、配付資料に基づき説明

3 質疑応答

【委 員】

献血できなかった場合の理由に血色素不足とあったが、他にはどのような原因があるか。

【事務局】

他には血圧が高い、あと当日薬を服用されている方もご遠慮いただいている。

【委 員】

高校に出向いて、献血をお願いしているということだが、行っていないところもある。これは学校の方からの要望とかあるのか。

【事務局】

県内の公立高校の昨年度は8校で実施させていただいている。昨今の授業のカリキュラム、学校行事そのものの中で、なかなか学内での献血は、今は厳しい段階。先ほど説明したが、若年層の方、特に10代の方、若いうちに1度でも献血経験のある方の方が、献血経験のない方と比べて、20代30代になったときに献血に出向く傾向にあるというアンケート結果等が出ている。なので、富山県でも学校献血へのご協力について、献血バスの配車や広報的な啓発活動に取り組んでいるところである。

【委 員】

献血の目標数が、実績を下回った目標である理由について。

【事務局】

採血は、平成 24 年に、全国の血液センターの血液センターがブロック化となり、富山は東海ブロック血液センター(東海 4 県北陸 3 県)で、この 7 県での採血の役割分担となっている。そのため、需要の動向によって東海ブロックセンターからの役割指示の変動があり、目標が変わるところもある。

4 閉 会